DXを活用できる人材育成に向けた取り組みについて

九州技術事務所長　坂元　浩二

新年明けましておめでとうございます。平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年に続き、昨年も令和2年7月豪雨において九州全域で多くの災害が発生し、堤防決壊など河川の氾濫等により多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、甚大な被害を受けられた皆さまに対して、心よりお見舞い申し上げます。

そのような中、九州技術事務所では、昨年も排水ポンプ車、照明車を出動させるとともに、約1カ月間にわたる現地でのオペレーションを実施しました。また、今回の災害では、球磨川で多数の橋梁が流出したため、本局の災害対策本部の指示により初めて被災橋梁箇所の緊急調査を実施し、当事務所で保有している応急組立橋を西瀬橋に仮設したことで、通学路など生活道路としての機能を短時間で回復させることができました。

また、昨年は、コロナウイルス感染拡大を背景として緊急経済対策が打ち出されましたが、その中で「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を活用することが一つのキーワードとなりました。そのため、当事務所でも施工現場の生産性向上を目的とした取り組みとして、BIM／CIM（ICT施工を含む）に対する①積極的な活用促進が実践できる人材の育成手法の検討に着手するとともに、②現在の技術的問題点の解決に対する研究継続をすることができました。

具体的には、これまで無人化施工機械操縦者の育成のみに取り組んできましたが、今後は自治体発注工事でのICT施工の活用が著しく遅れていることから、小規模な現場での有用性を理解して頂くための「適正な研修等の手法検討」を昨年11月19日から20日の両日、九州建設業協会の皆様の協力の基に実施することができ、加えて参加して頂いた皆様には、ポストコロナに向け必要となる「遠隔操作による現場施工」の実体験も経験して頂きました。

更には、昨年は、土木研究所との共同研究によるBIM／CIMの流れの中にVR技術を組み込む検討も順調に進み、今年度中にフィールド検証が行えることとなりました。

今後とも、DXの活用促進に向けた取り組みを実践するとともに、従来どおり、九州地方の繁栄と安全・安心確保のため、当事務所一丸となって努力して参りますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

地域の発展に貢献する港湾づくりを目指して

唐津港湾事務所長　辻　英明

新年あけましておめでとうございます。

皆様には平素より港湾行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウィルス感染症が世界中で感染拡大し、感染防止のために生活様式も様変わりした年となりました。建設業の皆様にはコロナ禍においても公共事業の工事現場での感染症対策を徹底していただき、遅滞なく工事を進めることが出来ており、大変感謝しております。

当事務所では、唐津港と伊万里港において地域経済の発展と住民生活の安全・安心の確保を目的に港湾施設の整備を進めております。

唐津港では、港湾貨物の輸送効率化やクルーズ船の受入、大規模地震発生時の防災拠点形成など多機能な利用を想定したふ頭の整備を進めております。平成28年には耐震強化岸壁の暫定供用を開始し、貨物船、クルーズ船などに利用されてきましたが、昨年は新型コロナの影響でクルーズ船の受入が中止となりました。当事務所では、コロナ禍収束後のクルーズ船受入の回復による地域活性化や防災機能強化に寄与するため、更に大型の船舶が安全に入出港できるよう、航路泊地の整備を引き続き進めてまいります。

伊万里港では、国際海上コンテナ輸送における西九州の拠点として、国際物流ターミナルの整備を進めております。岸壁、航路・泊地の整備は既に完了し、現在は、港湾関連貨物の物流円滑化を図るため、国道204号と結ぶ臨港道路七ツ島線の整備を進めており、本年も引き続き推進してまいります。

また、事業の実施にあたりましては、担い手不足などの建設業界の課題に対し、ICT浚渫工等の導入推進による生産性の向上や工事発注における働き方改革の取り組みなど担い手育成・確保につながる活動を建設業界の皆様と連携して進めていきたいと考えています。

本年も、港湾整備や港まちづくりを通じ、地域の発展に貢献するため、事務所職員一丸となって取り組んでまいる所存でございます。皆様方にはなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

誠実と信頼で地域社会の発展に貢献する
一般社団法人建設コンサルタンツ協会会員
西日本総合コンサルタント株式会社
代表取締役　福島 裕充
子育てサポート認定企業（女性大活躍推進佐賀県会議会員 ワーク・ライフバランス推進企業）
本社／〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉3114-3 TEL:0952-98-2141 FAX:0952-98-3538
●鳥栖支店 ●唐津支店 ●武雄支店 ●鹿島営業所 ●みやき営業所 URL http://www.nisicon.co.jp E-mail eigyou@nisicon.co.jp

技術力向上へのたゆまない努力　誠心誠意から生まれる本物の信頼
“誠心誠意”
朝日テクノ株式会社
代表取締役　法村 孝樹
［本　社］佐賀市大和町大字梅野280番地
TEL:0952-37-9300／FAX:0952-37-9301
［伊万里営業所］伊万里市二里町大里乙36-26
TEL／FAX:0955-23-5567
建設・補償コンサルタント業／測量業／自然環境

新たな未来へ向かって
株式会社 親和コンサルタント
代表取締役社長　淵脇 澄廣
本　社　佐賀市卸本町7-25 Tel:0952-32-1348 Fax:0952-36-6681
西部支店　武雄市武雄町武雄5954-1 Tel:0954-23-1311 Fax:0954-23-1319
営業所　唐津市・伊万里市・鳥栖市

測量・建設コンサルタント・地質調査・補償コンサルタント・1級建築士事務所
社会基盤整備の良きパートナーとして
株式会社 精工コンサルタント
代表取締役社長　佐々木 義文
取締役 宮崎 久治　取締役 廣田 向志
取締役 原 静子　監査役 中江 章
【本　社】〒847-1211 佐賀県唐津市北波多岸山611-16
TEL0955-64-2237 FAX0955-64-3627 E-mail. soumu@seiko-con.com
エコアクション21 認証番号 0012458

設計業務（上水道、下水道設計管理、道路、河川、都市計画、各種構造物設計管理）
測量業務（地形、用地、深浅、河川、基準点）　地質調査（ボーリング調査、CBR試験）
KSS 九州水工設計株式会社
代表取締役　片渕克弘　取締役　大串研士　梅﨑英之介
本　社：〒849-0937 佐賀市鍋島五丁目7-24 TEL0952-32-1105 FAX0952-32-1853
福岡支店・唐津支店・武雄支店・鳥栖支店・鹿島支店・熊本営業所・大分営業所・中津営業所

「人・自然・街の未来」技術で拓く夢がある。県民の安全で安心な暮らしの実現に向けてサポートします
公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
Saga Construction Technology Support Organization
理事長　西村 平
佐賀市鍋島町大字八戸3182
TEL 0952-26-1666 FAX 0952-26-1675 http://www.sagacat.or.jp